

# 第51回広瀬川創生プラン策定推進協議会

日 時:令和8年3月17日(火) 14時00分から16時00分まで  
場 所:宮城自治労会館 6階 601号会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 挨 拶

### 3. 議 事

- (1) 令和7年度重点事業及び取組事業の実施状況について 資料1
- (2) 令和8年度重点事業及び取組事業について 資料2
- (3) 広瀬川魅力創生サポーターについて 資料3
- (4) 広瀬川魅力創生サポーター認定制度の見直しの方向性について 資料4

### 4. その他

### 5. 閉 会

#### ○配布資料

- 資料1 令和7年度重点事業及び取組事業の実施状況について
- 資料2 令和8年度重点事業及び取組事業について
- 資料3 広瀬川魅力創生サポーターについて
- 資料4 広瀬川魅力創生サポーター認定制度の見直しの方向性について
- 参考資料1 広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱
- 参考資料2 令和7年度取組事業一覧
- 参考資料3 令和8年度取組予定事業一覧
- 参考資料4 広瀬川魅力創生サポーター認定制度(お知らせのチラシ)
- 参考資料5 広瀬川魅力創生サポーター認定制度実施要綱

# 第51回広瀬川創生プラン策定推進協議会 席次表

日時:令和8年3月17日(火) 14時00分から16時00分まで  
場所:宮城自治労会館 6階 601号会議室

● :マイク

受付

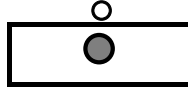
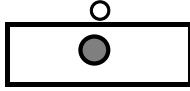
出入口

東京大学大学院  
総合文化研究科 准教授  
日本河川教育学会 理事

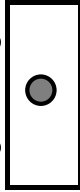
東北工業大学  
ライフデザイン学部 学部長

小田 隆史 会長代理

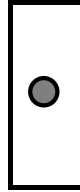
小祝 慶紀 会長



東北大学大学院農学研究科  
准教授 多田 千佳 委員



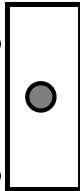
国土交通省東北地方整備局  
仙台河川国道事務所  
流域治水課長 一井 利光 委員



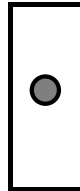
特定非営利活動法人都市デザインワークス  
せんだいセントラルパーク縁長  
豊嶋 純一 委員

東北電力株式会社宮城支店  
広報担当部長 岩崎 雄一郎 委員

宮城大学研究推進・地域未来共創センター  
コーディネーター 中嶋 紀世生 委員

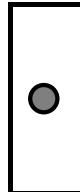


広瀬川1万人プロジェクト実行委員会  
副委員長 大場 秀行 委員



特定非営利活動法人水・環境ネット東北  
事務局長 谷田貝 泰子 委員

仙台市片平市民センター  
館長 今野 義則 委員



一般社団法人個育てコーチング協会  
代表理事 西城 あや 委員

なおコンサルティング  
代表 佐藤 奈緒子 委員

報道者席

報道者席

## 事務局



福與 聡  
参事兼公園管理課長  
百年の杜推進部  
河西 義人  
建設局次長



小松 利充  
建設局次長  
佐藤 秀樹  
建設局長



鈴木 江美子  
百年の杜推進部長  
水嶋 信文  
百年の杜推進課長



庄司 明浩  
主幹兼広瀬川創生係長  
百年の杜推進課  
事務局担当者

関係者席

傍聴席

# 広瀬川創生プラン策定推進協議会委員名簿

第10期(令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役職	氏名	役職又は団体名	備考
	一井 利光	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 流域治水課長	
	岩崎 雄一郎	東北電力株式会社宮城支店 広報担当部長	
	大場 秀行	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 副委員長	
会長 代理	小田 隆史	東京大学大学院総合文化研究科 准教授 日本河川教育学会 理事	
会長	小祝 慶紀	東北工業大学ライフデザイン学部 学部長	
	今野 義則	仙台市片平市民センター 館長	
	西城 あや	一般社団法人個育てコーチング協会 代表理事	
	笹村 欣司	ニッカウキスキー株式会社仙台工場 理事工場長	
	佐藤 奈緒子	なおコンサルティング 代表	
	多田 千佳	東北大学大学院農学研究科 准教授	
	田名部 一郎	宮城県仙台土木事務所 河川部河川砂防第一班 技術主幹(班長)	
	豊嶋 純一	特定非営利活動法人都市デザインワークス せんだいセントラルパーク縁長	
	中嶋 紀世生	宮城大学研究推進・地域未来共創センター コーディネーター	
	谷田貝 泰子	特定非営利活動法人水・環境ネット東北 事務局長	
	山本 琴枝	仙台商工会議所女性会 常任委員	

(敬称略・五十音順)

# 令和7年度重点事業 及び取組事業の実施状況について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第51回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

# 1. 令和7年度重点事業について

■事務局における選定結果より、以下4団体の取組みを重点事業認定候補として、第50回広瀬川創生プラン策定推進協議会へ提出し、4団体の取組みすべてを重点事業として認定。

取組団体	取組内容
広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃
GARDEN of RIVER, SENDAI project	広瀬川大橋 水辺の青空学校
広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」
関山街道フォーラム協議会	「関山街道の四季フォトコンテスト」記念パンフ作成

## 【重点事業選定の要件】

以下(1)(2)の要件すべてに該当すること

(1)「広瀬川の魅力を発信する上で効果的」な事業であるか

…プラン基本目標の「iv 河川への関心の向上」「v 市民協働の仕組みづくり」いずれかを含む事業であること

(2)「重点事業認定の基本的な考え方」すべてに合致する事業であるか

○「複数の主体が連携・協力できる取組みであること」

市民・NPO・行政・企業などの主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの。

○「市民が広く参加できる取り組みであること」

世代・地域・立場などを超えて、市民が気軽にかつ自発的に参加することができるもの。

○「ソフト中心の取り組みであること」

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの。

## 【対象事業期間】

令和7年8月1日から令和8年3月31日まで

※ 令和7年度は、プラン改定の影響により、公表日(令和7年7月31日)の翌日から実施する事業を対象とした。

令和8年度以降は、原則として4月1日から実施する取組事業を対象として、重点事業の募集を行う。

# 1. 令和7年度重点事業について

## 【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃

### ■事業概要

仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃を 年2回(春・秋)実施

### ■実施主体

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

### ■実施内容

11月8日に秋の一斉清掃を実施し、中止の作並・野川橋会場を除いた16会場および本年度試行開催の1会場(仙台港)において、参加者総数「1,208名」 ゴミの総数「170袋」となった



【クマ忌避剤を設置】



【澱橋会場】

会場名	参加者数	ゴミの数 (袋)	会場名	参加者数	ゴミの数 (袋)
①作並(中止)	—	—	⑩米ヶ袋	86	10
②野川橋(中止)	—	—	⑪宮沢橋	101	4
③折立	27	4	⑫広瀬橋	131	5
④牛越橋	59	12	⑬八本松	59	4
⑤澱橋	137	5	⑭千代大橋	164	36
⑥仲ノ瀬橋	25	2	⑮太白大橋	30	16
⑦大橋左岸	110	4	⑯名取川鉄道橋	19	18
⑧大橋右岸	54	2	⑰かわまちてらす閑上	68	13
⑨評定河原橋	21	1	⑱閑上海岸	110	22
			その他1会場(仙台港)	7	12



【太白大橋会場】

# 1.令和7年度重点事業について

## 【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃

### ■成果目標

目標	結果	理由
秋の参加者数 1,700人程度	未達成 (1,208)	クマ出没増加をうけ、目撃情報の多い「作並会場」「野川橋会場」を中止としたほか、各会場において参加キャンセルもあり、参加者数が減少となったため

### ■自己評価

- ①クマの出没が相次ぎ、実行委員会における緊急の事務局会議を開催し対応方針を検討  
 (基本的な対応方針):見通しの悪い藪への立ち入り回避、クマの痕跡の確認、忌避剤の使用、単独行動の禁止  
 各会場の特性に応じ、清掃区域の調整や時間変更(午後開催)などの対策 等
  - ➡全会場で事故や被害の発生がなく、安全を確保しながら清掃活動を実施できた
  - ➡一部中止となった会場もある一方、16会場での開催を維持し、一定規模の市民参加を確保することができた
- ②昨年に引き続き秋の一斉清掃の様子が「2025 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン」特集記事  
 (河北新報、12月22日)として掲載
  - ➡イベントPRにより市民の広瀬川に対する意識醸成に寄与

### 来年度に向けて

今後も様々なエリアにおいて市民が広く参加できる活動として継続できるよう、清掃会場の追加(仙台港)を予定しており、今年度の経験を踏まえ、鳥獣被害リスクにも対応しながら、多様な主体が安心して参加できる環境づくりを行う。

### ■本市支援状況

- ・太白大橋会場において、市が事務局として会場運営を実施
- ・当日に市職員を各会場に派遣し、清掃作業に従事(千代大橋、八本松会場、牛越橋、澗橋会場)
- ・環境局と連携し各会場のゴミ回収の実施(牛越橋、澗橋、仲ノ瀬橋、大橋左右岸、宮沢橋、千代大橋会場)

# 1.令和7年度重点事業について

## 【重点事業2】 広瀬川大橋 水辺の青空学校

### ■事業概要

河川への関心を高めるため、水辺空間での除草活動(動く)、河川の各専門家の講座(学ぶ)、水辺での食事(食べる)を通して、総合的、体験的に河川を知る機会と交流の場をつくり、まちづくりにつなげるイベントを開催する。

### ■実施主体

GARDEN of RIVER, SENDAI project

### ■実施内容

令和8年3月17日現在 延べ 153人参加

実施日	会場	イベント名	参加者数
8月23日	大橋左岸	大人のための川遊び講座	24名
9月6日	大橋左岸	川で遊ぼう ～あんげんに・たのしく・やさしく～	27名
10月19日	大橋右岸	水辺の石から大地の歴史を学ぼう！	24名
11月30日	大橋～まちなか	杜の都の礎を築いた四ツ谷用水とは？	19名
12月13日	大橋～澱橋～牛越橋	フットパスの楽しみ ～歩いて・感じて・味わう	17名
12月28日	緑彩館	望年会(ワークショップ)	8名
1月24日	大橋左岸	広瀬川の自然 野鳥編	16名
2月28日	牛越橋～大崎八幡宮	水の神様	18名
3月29日予定	大橋左岸右岸	まちと緑とカワノバ	募集人数 (20名程度)



【広瀬川の自然 野鳥編】



【水の神様】

# 1. 令和7年度重点事業について

## 【重点事業2】 広瀬川大橋 水辺の青空学校

### ■成果目標

目標	結果	理由
毎月1回のイベント開催	達成	実施内容で示したとおり、月に1回以上イベントを開催したため

### ■自己評価

#### ①様々なテーマの水辺イベント(フィールドワーク)の実施

- ➡アンケートでは満足度の高い結果が得られた(「川のことをより知ることができた」「また参加したい」等)
- ➡活動参加者からは「自分でもイベントをやってみたい」等の感想も聞かれ、新たな取組み創出の可能性を見い出せた
- ➡継続して参加するリピーターも見られ、広瀬川への意識の高揚と次年度以降の活動の継続性を見い出せた

#### ②他団体との連携の強化

- ➡青空学校の開催にあたり他団体の協力を得るなど、協働体制を構築することができた
- ➡青空学校の参加者が他団体のイベントに参加するなど、新たな連携やつながりが生まれた

#### ③望年会(ワークショップ)の開催

- ➡50年後の広瀬川をどのようにしていくかを意見交換し広瀬川への意識の高揚を図った

### 来年度に向けて

引き続き、広瀬川を市民にとっての「サードプレイス」的な存在となるよう、除草活動(動く)、講座(学ぶ)、交流(食べる)を通し、総合的、体験的に河川を知る機会と交流の場をつくっていく。

※サードプレイス:家(第一の居場所)や職場・学校(第二の居場所)とは別の、第三の居場所のこと

### ■本市支援状況

- ・行政手続きに関する相談対応(助言・相談窓口紹介 等)
- ・イベント主催者は、他の活動団体がイベントを実施する際に必要となるノウハウをまとめた手引書の作成を目指しており、R7年度は水辺の活動に必要な協議先や協議のポイントの整理に助言

# 1. 令和7年度重点事業について

## 【重点事業3】 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートのタベ」

### ■事業概要

広く仙台市民に親しまれる夏の風物詩としての伝統文化の伝承と、災害における犠牲者を弔うとともに、被災地の復興を祈願するもの。また、時代の移り変わりと共に、戦災や震災の供養の心に加え、地域の振興と奉仕の心を通して人々の絆を強める行事である。

### ■実施主体

広瀬川灯ろう流し実行委員会

### ■実施内容

実施日	会場	内容	参加者数
8月20日	広瀬川宮沢緑地など	灯ろう流し・花火打ち上げ・ステージ発表(第1部/第2部)をメインイベントとし、「ながまち灯ろう縁日」(こども縁日・キッチンカー・商店街出展)をリップロードで実施するほか、オリジナルフレーム切手やオリジナル手ぬぐいを作成・販売した	のべ4万人



【花火】



【会場の様子】

# 1. 令和7年度重点事業について

## 【重点事業3】 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」

### ■成果目標

目標	結果	理由
広瀬川にまつわる歴史・文化に触れる機会を創出するとともに、改めて広瀬川の自然を、多くの市民や参加者に認識してもらうこと	達成	来場者はのべ4万人に達し、イベントを通して、広瀬川の歴史や文化、自然に触れる機会の創出につながっているため

### ■自己評価

#### ①地域と連携・協力したイベントの実施

- 各商店街における募金活動・広告協賛活動により運営資金を捻出できた
- 市民及び商店街各店の方々の多大なる支援のもと開催できた
- 地域団体の参加や警察、消防等の協力により、事故等なく開催ができた

#### ②花火の開催などによるイベント実施方法の工夫

- 多くの来場者を獲得することで、近隣商店街の飲食店等への来店顧客が増加し、地域活性化に寄与した

### 来年度に向けて

- ・太白区・若林区両区の夏の風物詩として継続していくため、実行委員会のみならず、地域や市民ボランティアなどと連携しながら安定的な開催を目指していく。(人材確保や費用捻出含む)
- ・HPを活用し、広報活動・協賛金の募集・ボランティアの協力等の情報発信を進める。

### ■本市支援状況

- ・来年度のイベント実施に向けた広報支援(広瀬川ホームページに「広瀬川灯ろう流し」を紹介する記事を作成)  
(※補足) 若林区・太白区まちづくり推進課においても、区民協働まちづくり事業として補助金交付等支援を実施

# 1. 令和7年度重点事業について

## 【重点事業4】「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成

### ■事業概要

宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線は、広瀬川や大倉ダム、白沢カルデラ等のエリアを対象とした写真の募集を「関山街道の四季フォトコンテスト」として5年間実施。その集大成として、入賞・入選作品等を取りまとめたパンフレットを作成し、来年度(※)に向けたフォトコンテストの取り組みの周知や、今後さらなる地域の魅力の再発見につなげるツールとして活用する。

(※)来年度から関山街道沿線に加え広瀬川の魅力の再発見を促進するため「関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト」に拡大する。

### ■実施主体

「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成実行委員会

### ■実施内容

パンフレットは3月末に完成とし、その後沿線の関係施設等に配布予定

実施日	会場	内容	参加者数
11月26日	広瀬市民センター	第1回実行委員会(打合せ内容:委員会規約・委員名簿・予算、記録パンフ作成の進め方について)	9名
12月17日	広瀬市民センター	編集会議(打合せ内容:ラフ(案)検討)	8名
1月21日	広瀬市民センター	第2回実行委員会(打合せ内容:ラフ(案)に基づき、構成内容の確認、委員各位からの意見聴取)	7名
2月18日	広瀬市民センター	編集会議(構成内容の確認)	6名
3月4日	広瀬市民センター	第3回実行委員会(最終確認)	9名



冊子

# 1. 令和7年度重点事業について

## 【重点事業4】「関山街道の四季フォトコンテスト」記録パンフ作成

### ■成果目標

目標	結果	理由
関山街道沿線の市民センターや学校関係、仙山線の各駅、公共施設等、30ヶ所程度に配布するなど、関山街道や広瀬川の魅力をより多くの市民へ伝えていく	達成予定	パンフレット完成後、3月末の関係施設への配布により、広瀬川や関山街道の広報につながるため

### ■自己評価

#### ①パンフレットの体裁の工夫

➡説明文を分量を抑えるなど、読みやすさを重視した「写真集」をイメージすることで、入賞作品の魅力を最大限に引き出せたほか、これまでの7年間の歴史を振り返る、記録性の高いパンフレットとなった

#### ②「関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト」へのリニューアルを見据えた広瀬川の景観写真の掲載

➡コンテストの認知度向上に加え、広瀬川のPRや地域の観光資源の魅力発信を見据えたパンフレットを作成することにより、広瀬川創生プランの広報にも寄与した

### 来年度に向けて

フォトコンテストの名称に「広瀬川」を追加することで、これまでの関山街道を中心とした内容に加え、広瀬川の魅力を伝える写真の増加を目指していく。その成果を巡回展示などを通し紹介することで、水辺と街道が織りなす多様な景観をPRしていく。

### ■本市支援状況

- ・実行委員会に加入し負担金(15万円)を支出
- ・パンフレット作成支援(校正作業や広瀬川の写真の提供 等)
- ・広報支援(広瀬川ホームページに紹介記事掲載や市民センターなど市内公共施設への配架 等)

## 2. 令和7年度取組事業について

令和7年度取組事業(参考資料2参照)	件数
取組事業 総数	80件(内、実施件数 78件)

### ◎令和7年度主な取組事業の報告

実施主体	主な取組事業の報告
・仙台市カヌー協会	・カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川
・仙台市建設局百年の杜推進課	・広瀬川・学びと癒しの焚火体験会
・仙台市建設局百年の杜推進課	・広瀬川(大橋周辺)水辺利活用の検討

## 2. 令和7年度取組事業について

### 【令和7年度主な取組事業の報告】

- 名称：カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川
- 実施主体：仙台市カヌー協会
- 実施期間：令和7年8月24日（日）
- 実施場所：青葉区角五郎澗橋～大橋（上陸は青葉山公園）
- 内容：カヌーを活用した社会貢献活動として河川清掃を実施。中洲・寄洲に漂着したビニール袋・ペットボトル、河床に埋没する空缶・金物など軽自動車1台分のごみを回収した。



## 2. 令和7年度取組事業について

### 【令和7年度主な取組事業の報告】

- 名称：広瀬川・学びと癒しの焚火体験会（広瀬川秋・冬イベント）
- 実施主体：仙台市百年の杜推進課 ■協力：株式会社イメージパーク、仙台たき火ティー
- 実施期間：令和7年12月7日（日）
- 実施場所：大橋上流左岸側（西公園南側の広瀬川河川敷）
- 内容：「かまど作り」「焚火」「おやつ作り」の3つの活動を組み合わせた体験型イベントを実施。火の扱い方を学ぶとともに、広瀬川の自然を体感することで、人と自然の関わりについて理解を深める機会となった。当日に実施した参加者アンケートでは、92%が「とても満足」と回答しており、高評価が得られた。



【かまど作り】



【焚火(火おこし)】

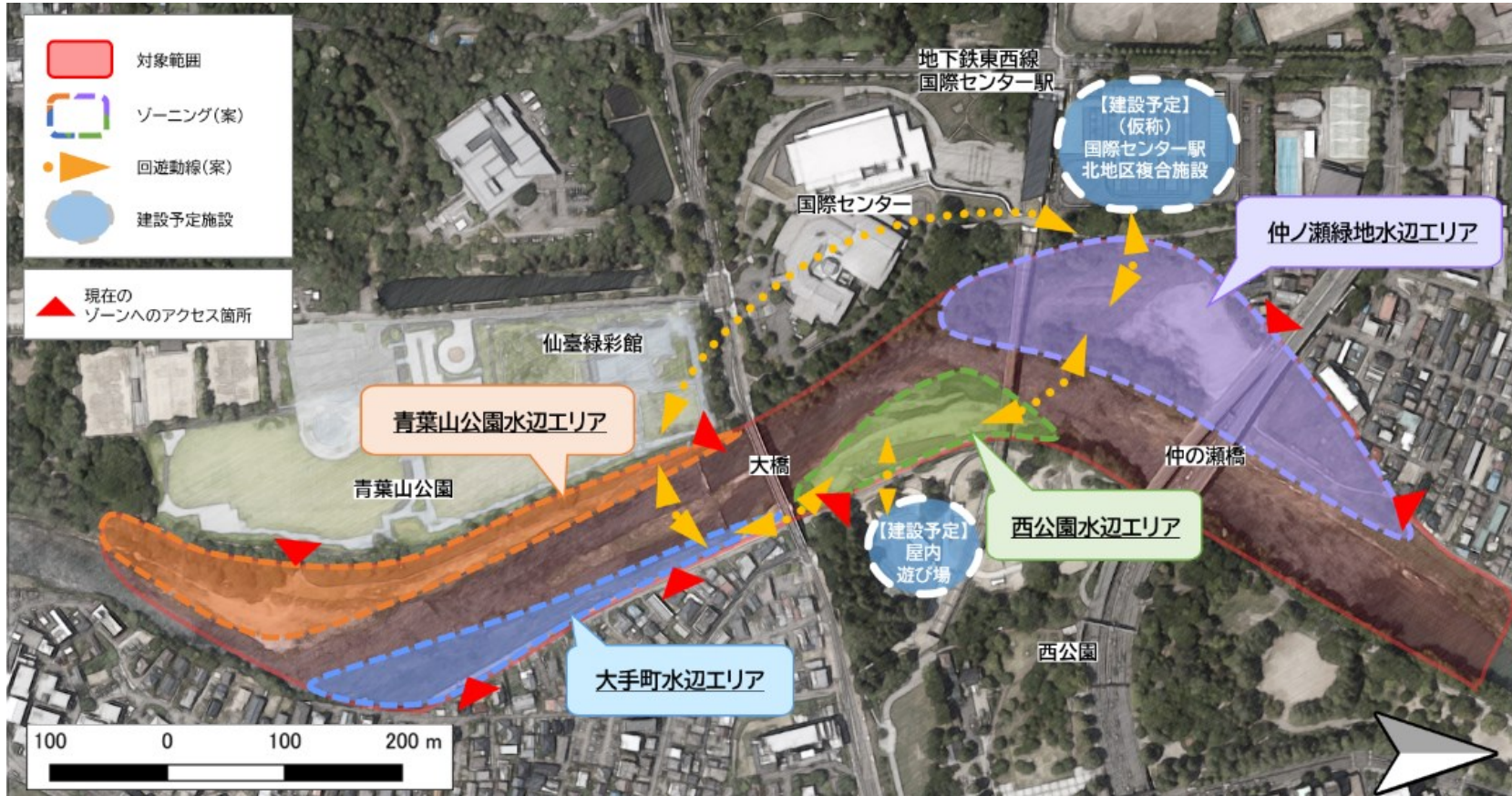


【おやつ作り】

## 2. 令和7年度取組事業について

### 【令和7年度主な取組事業の報告】

- 名称：広瀬川（大橋周辺）水辺利活用の検討
- 実施主体：仙台市百年の杜推進課、広瀬川（大橋周辺）水辺利活用検討会
- 内容：「青葉山エリア“Water Garden”」をコンセプトに、地域の資源を大切にしながら、周辺施設などを巡る回遊性の向上を図り、水辺を活用した憩いや遊び、学びを体験できる身近な交流の場所となるよう、新たな水辺空間を創出するための検討を行う。（水辺活用のゾーニング案）



## 2. 令和7年度取組事業について

### ●水辺利活用のイメージ



※基本構想(令和7年7月策定)段階での整備イメージを示すものであり、今後の検討により変更になる場合がある。

# 3.取組事業実施における課題について

■広瀬川創生プラン「推進状況の評価」 ……プランp43

## 「1年ごとの取組状況の把握」

①年1回程度、活動団体などに実施状況・実施予定を確認

②実施状況を仙台市から協議会へ報告  
実施状況を分析し課題を整理

③改善に向けた対応方針を協議会と仙台市で検討

④活動団体等へフィードバック



令和7年度より、取組団体から実績報告とともに「取組実施にあたっての課題や問題点」も確認



現状の課題を調査

# 3.取組事業実施における課題について

## ■令和7年度実施状況

取組事業一覧に掲載された80事業うち、78事業の実施を確認でき、実施率は約97%となった。また、未実施となった2事業については、以下のとおりの結果となっている。

取組事業名	未実施となった理由 等	来年度予定
伊達な川床	川床設置にかかる予算確保が困難であったため	継続予定
広瀬川自転車ライド	青葉山公園周辺での活動を想定も、水辺に近づける環境が少なく活動場所として自転車での移動に適さない環境と判断したため	継続なし

## ■実施事業における現状課題と対応策

実施した取組みに係る現状課題について活動団体に確認し、以下のとおり整理した。

課題	内容	対応策
人材不足	・高齢化による人材不足、担い手不足の進行 ・人材不足によるイベント時の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランの広報や交流会の実施による連携強化</li> <li>・取組団体への1日体験入会等の企画を提案</li> </ul>
官民協働	・市民協働の取り組みのスキームが不明	
資金調達	・イベント開催のための資金調達が困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランに基づく重点事業への助成制度拡充</li> <li>・他の助成制度の紹介</li> </ul>
広報	・新規参加者の獲得や認知度向上に向けた広報の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広瀬川ホームページやInstagramによるイベント情報の発信</li> </ul>
安全対策 開催判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象条件、河川水位などの影響や熱中症リスク等、安全確保やイベント開催判断が困難</li> <li>・クマ出没リスクによるイベント開催判断や実施対策が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広瀬川ホームページやInstagramによる周知</li> <li>★気象情報、河川水位等を確認できるサイト(気象庁及び宮城県HP)の紹介</li> <li>★熱中症警戒アラートや熱中症対策ガイドライン(環境省)の活用</li> <li>★クマ対策情報(本市環境局HP等)の発信</li> <li>・開催判断の参考となる、他イベントの判断事例紹介の検討</li> <li>・クマ対策グッズ(忌避剤やクマ鈴 等)の貸出の検討</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広瀬川沿川における駐車場の不足</li> <li>・河川環境の悪化(水量不足など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的な対応が難しく、関係機関との連携や情報共有を図りながら動向を注視(必要に応じ活動団体へ情報共有)</li> </ul>

➡対応策等について活動団体へフィードバック



# 令和8年度重点事業 及び取組事業について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第51回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

# 令和8年度重点事業及び取組事業について



# 1.重点事業認定制度について

## 【制度の概要】

広瀬川の魅力を発信する上で効果的、かつ、「重点事業認定の基本的な考え方」に合致する事業は、協議会において重点事業として認定。  
…プラン冊子p.39

## 【認定の手順】

令和7年度より、取組団体からの公募制とし、下記「★重点事業選定要件★」にすべて該当する事業を、重点事業認定候補として協議会へ提出し、協議会での認定後、各団体へ重点事業認定書を交付する。

### ★重点事業選定要件★ 以下(1)(2)の要件すべてに該当すること

#### (1)「広瀬川の魅力を発信する上で効果的」な事業であるか

…プラン基本目標の「iv 河川への関心の向上」「v 市民協働の仕組みづくり」  
いずれかを含む事業であること

#### (2)「重点事業認定の基本的な考え方」すべてに合致する事業であるか

○「複数の主体が連携・協力できる取組みであること」

市民・NPO・行政・企業などの主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの。

○「市民が広く参加できる取組みであること」

世代・地域・立場などを超えて、市民が気軽にかつ自発的に参加することができるもの。

○「ソフト中心の取組みであること」

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの。

## 2. 令和8年度重点事業候補について

- 重点事業の公募の結果、3団体より申請を受け付けた。  
事務局における選定結果より、3団体すべてを重点事業認定候補として提出する。
- 重点事業の公募に併せ、補助金の希望調査も実施し、3団体中2団体より申し出があった。

応募団体	取組内容	補助金希望
広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃	×
GARDEN of RIVER, SENDAI project	(仮称)流域をつなげて歩く広瀬川 フード“風土”ウオーク広瀬川	○
関山街道フォーラム協議会	関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト2026	○

※候補事業については、事業ごとに、以下の項目を整理し、次ページ以後にお示しする。  
また、事務局における選定作業の結果についても、併せて掲載する。

「実施主体」…事業を主体的に実施する団体名  
「事業概要」…事業の目的や内容の概要  
「実施場所」…主な実施場所  
「当年度の取組み」…令和8年度に予定されている具体的な活動内容  
「成果目標」…事業を通じて目指す成果や目標値  
「支援内容」…仙台市の支援内容

## 2. 令和8年度重点事業候補について

### — 候補① — 広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃

■実施主体: 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

■事業概要: 仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して広瀬川流域を含む河川・海岸一斉清掃を年2回(春・秋)実施

■実施場所: 春の一斉清掃 11会場 秋の一斉清掃 19会場

■当年度の取組み: 一斉清掃の開催

春 4月25日(土)／予備日5月9日(土)

秋 9月26日(土)／予備日10月3日(土)

■成果目標: のべ参加者数 2,800人程度

(春の参加者 1,100人 秋の参加者 1,700人)

#### ■支援内容:

①太白大橋会場の運営(秋の一斉清掃)

②清掃日当日の参加

(春) 澱橋会場、千代大橋会場、大橋会場へ各1名

(秋) 牛越橋会場、澱橋会場、千代大橋会場、八本松会場へ各1名

③翌日のゴミ回収

(春) 澱橋会場、仲ノ瀬橋会場、宮沢橋会場、千代大橋会場

(秋) 牛越橋会場、澱橋会場、仲ノ瀬橋会場、大橋右岸会場、宮沢橋会場、千代大橋会場

④鳥獣対策(クマ出没に関する情報共有等)

## 2. 令和8年度重点事業候補について

### — 候補① — 広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃

#### 【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心向上」の施策の方向⑨「広瀬川に関する催しの実施」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 清掃により広瀬川に訪れる機会を創出し、自然環境を再認識できる活動。 また、団体・企業・行政の連携による実施体制で、市民も参加可能なイベント。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	実行委員会形式で、団体・企業・行政が連携・協力し実施。
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	公式HPで広く募集を実施し、各会場で市民も参加可能。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	広瀬川の清流を守るための環境美化活動。

## 2. 令和8年度重点事業候補について

### — 候補② —

#### (仮称)流域をつなげて歩く広瀬川 フード“風土”ウォーク広瀬川

■実施主体: GARDEN of RIVER, SENDAI project

■事業概要: 「流域」「街歩き」「健康」「環境美化」などをキーワードに、広瀬川沿いを歩くこと、走ることを通し、川と周辺地域(風土)、地域の食(食文化)を知る機会を創出する。

■実施場所: 広瀬川沿い または 近くの道

■当年度の取組み: 春 または 秋 に ウォーキング等のイベントおよびワークショップ開催(年1回)

■成果目標: 広瀬川に係る活動の今後の方向性を共有し、新たな魅力創出の足掛かりとすること  
(ウォーキング等のイベント実施後にワークショップを行う場を設ける)

#### ■支援内容:

①補助金交付

②広報支援(市政だより・広瀬川インスタグラム・広瀬川ホームページなど)

## 2. 令和8年度重点事業候補について

### — 候補② —

## (仮称) 流域をつなげて歩く広瀬川 フード“風土”ウォーク広瀬川

### 【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心向上」の施策の方向⑨「広瀬川に関する催しの実施」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 広瀬川沿川でのイベントの開催により、広瀬川へ訪れる機会を創出し、広瀬川と地域の風土・食文化などあらゆる角度から魅力を再認識できる活動。 また、専門家との協働による市民参加型の体験学習イベント。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	関係団体(広瀬川市民会議、水環境ネットワーク東北、カントリーパーク新浜、関山街道フォーラム)等と連携して実施。
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	市民を対象としたイベントとし、参加者の募集を実施。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	広瀬川沿川のウォーキング等をとおした情報収集と、ワークショップの実施により、河川への関心を高める活動。

## 2. 令和8年度重点事業候補について

### —候補③— 関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト2026

■実施主体: 関山街道フォーラム協議会

■事業概要: 令和元年度から続く「桜プロジェクト」および「関山街道の四季フォトコンテスト」を引継ぎ、宮城・山形両県を結ぶ関山街道沿線の魅力を再発信するもの。令和8年度は、地域の象徴である「広瀬川」に焦点を当て事業名称を改め、関山街道沿線および広瀬川周辺の四季折々の風景、文化、魅力を捉えた写真を募集。住民参加を通じて郷土への愛着を育むとともに、作品発信による観光交流の促進と地域経済の活性化を目的とする。

■実施場所: 関山街道沿線および広瀬川沿川

■当年度の取組み: 写真募集(プリント部門およびスマートフォン部門の二部制)  
審査会および表彰(入賞者に対し、賞状および副賞(クオカード等)を贈呈)  
作品のWeb公開および受賞作品の巡回展示(計10会場)

■成果目標: 応募作品数の増加(前年度比10~20%増)  
SNS等を通じた応募作品の共有による魅力発信

■支援内容:

- ①補助金交付
- ②広報支援(市政だより・広瀬川インスタグラム・広瀬川ホームページなど)
- ③展示機会の確保(市民センターや市関連施設展示実施の調整)

## 2. 令和8年度重点事業候補について

### — 候補③ — 関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト2026

#### 【参考】事務局選定結果(要件との照合)

要件	該当性	補足
①プラン基本目標(iv)(v) いずれかに該当	該当(iv)(v)	基本目標iv「河川への関心の向上」の施策の方向⑧「市民への情報発信」及び基本目標v「市民協働の仕組みづくり」の施策の方向⑩「市民参画型事業の推進」に該当。 広瀬川をテーマの1つとしたフォトコンテストおよび巡回展示の実施により、広瀬川の四季の風景などの魅力を広く発信できる活動。 また、多様な団体等で構成される協議会において企画・運営され、広く市民が参加できるフォトコンテスト。
②重点事業の基本的な考え方 複数の主体が連携・協力できる	該当	多様な団体・企業・行政等が会員となっている協議会での実施。
②重点事業の基本的な考え方 市民が広く参加できる	該当	16歳以上の市民であれば誰もが応募可能。
②重点事業の基本的な考え方 ソフト中心の取り組み	該当	写真の応募・表彰・展示を通し、地域や広瀬川への関心を高め、魅力を発信するための活動。

### 3. 事業補助金の支出について(参考)

■令和8年度の広瀬川創生プラン重点事業における、補助金支出希望事業および、補助予定金額については以下のとおりの予定である。

■令和8年度重点事業 補助金支出希望事業	補助金額(予定)	総事業費(予定)
(仮称)流域をつなげて歩く広瀬川 フード“風土”ウオーク 広瀬川	25,000円	50,000円
関山街道と広瀬川の四季フォトコンテスト2026	154,000円	314,000円

※R8年度から「広瀬川創生プラン補助金交付要綱」に基づき支出。

※重点事業のうち自己資金による運営が困難な事業に補助金を支出する。

※補助金の上限は、総事業費の1/2までとする。

# 4. 令和8年度取組事業について

■ 令和8年度取組予定事業(参考資料3参照)	件数
取組事業 総数	80件
内、新規・拡充事業数	5件

## ◎ 令和8年度取組事業の活動紹介(新規・拡充)

実施主体	取組事業名	
仙台市水道局	青下の杜プロジェクト【新規】	
GARDEN of RIVER, SENDAI project	水辺のチカラ	水辺の青空学校【拡充】
		草の利活用ブランド【新規】
		川のインフォメーションセンター機能【新規】
	広瀬川上流下流域と繋がる事業【新規】 (仮称)流域をつなげて歩く広瀬川 フード“風土”ウオーク広瀬川 ※R8年度重点事業選定	

# 4. 令和8年度取組事業について

## 【令和8年度取組事業の活動紹介(新規・拡充)】

■名称：青下の杜プロジェクト

■実施主体：仙台市水道局(担当部署：営業課営業企画係) ■協力企業：11社

■内容：仙台市の水道水源の一つである青葉区熊ヶ根の青下水源地において、仙台市が保有する水源涵養林の保全育成に取り組むもの。将来にわたり安全でおいしい水道水を届けるため、民間企業と連携して取り組んでいく。

### ■当年度の取組み：

#### 「青下の杜フェスティバル2026」の開催(令和8年6月6日(土)予定)

- 親子で水源地の自然をゆったり楽しんでもらい、仙台の水道への関心・愛着・信頼を向上させること、また、青下の杜プロジェクトのPRや水道記念館の活性化を図ることを目的とする。
- 青下ダム(青下川)は広瀬川の支流であること、基本理念「自然環境の保全」が水源保全の考え方に重なることから、広瀬川関連も活動PRのため出展を予定している(ペットボトルロケット体験も実施)

【どんぐり拾い】



【間伐】



【巣箱作り】



# 4. 令和8年度取組事業について

## 【令和8年度取組事業の活動紹介(新規・拡充)】

- 名称 : 水辺のチカラ(①水辺の青空学校 ②草の利活用ブランド ③川のインフォメーションセンター機能)
- 実施主体: GARDEN of RIVER, SENDAI project
- 内容 : 広瀬川の水辺空間を、市民が主体的に関わり愛着の持てる「サードプレイス(「庭」のような場所)」として再生させることを目的に取り組むもの。あわせて、安定的で継続可能な活動の確立に向け、経済的自立につながる収益事業にも取り組む。

### ■当年度の取組み:

#### ①「水辺の青空学校」の開催

作業・学び・交流の体験型プログラムとして、企業(有償)および地域住民(低価格/無料)向けに実施。

#### ②「草の利活用ブランド」の展開

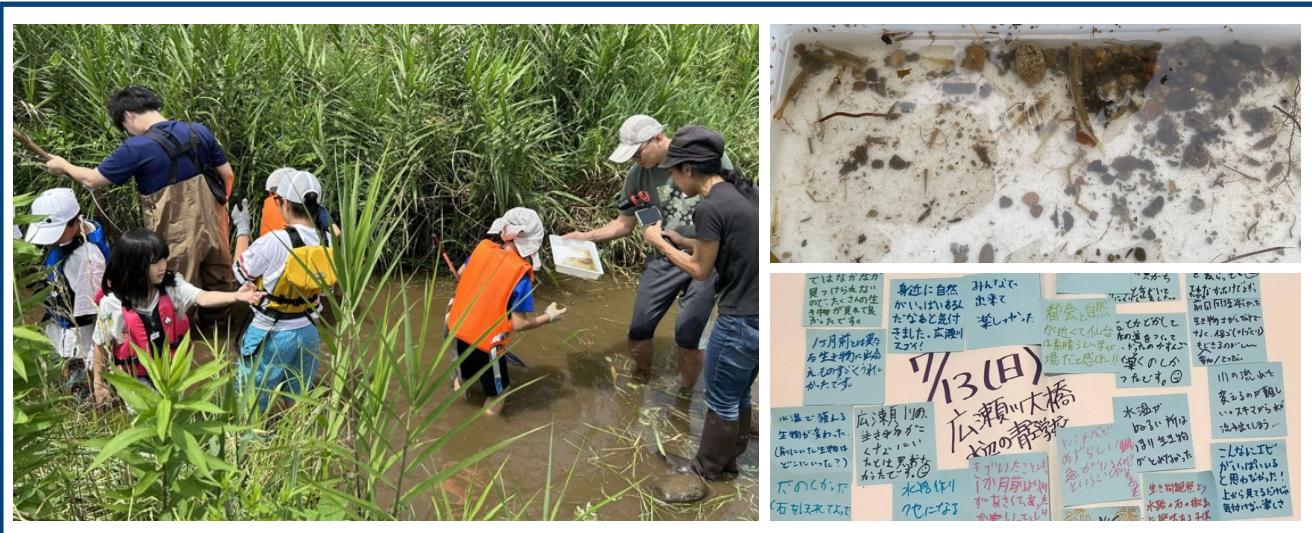
都市河川の資源循環を実現するため、除草後の刈り草を利用した商品開発・販売を実施。

#### ③「川のインフォメーションセンター機能」の構築

上記2つの活動内容も含む河川に関する情報発信や主体的に参画できる交流拠点となる場の整備を実施。

【水辺の青空学校(生き物調査)】

【インフォメーションセンター イメージ図】



# 広瀬川魅力創生サポーターについて

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第51回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

# 1. 広瀬川魅力創生サポーター認定制度について

■ 広瀬川の自然環境の保全や賑わいの創出に貢献している活動団体に対して「広瀬川魅力創生サポーター」として認定する制度を平成31年4月1日に創設した。…参考資料4

## 広瀬川グリーンサポーター

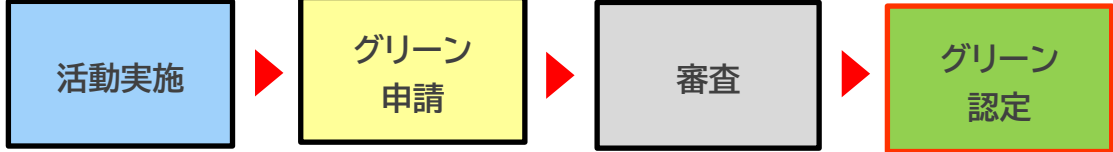


：広瀬川創生プランの取組事業(※1)に延べ10人以上従事  
※1:申請の前年度～当該年度に開催されたもの

【本市の支援】

仙台市  
ホームページ  
で活動を紹介

【認定までの流れ】



## 広瀬川ゴールドサポーター

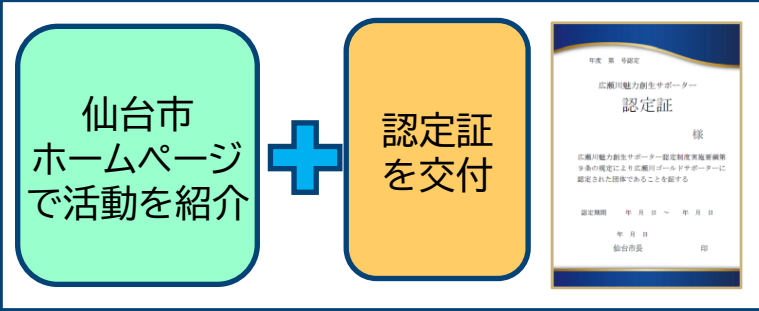


グリーンサポーターの認定期間中に次のいずれかの活動に従事

- ✓「広瀬川1万人プロジェクト」の清掃活動の会場事務局(又は補助)を3年以上担当
- ✓広瀬川創生プランの重点事業の主催団体(又は補助)として2回以上(※2)活動

※2:うち、1回は重点事業以外の事業(多くの市民が参加できて広瀬川の保全や賑わいづくりに貢献する取組)でも可

【本市の支援】



【認定までの流れ】



## 2. 広瀬川グリーンサポーターの更新について



### 広瀬川グリーンサポーターについて

○現認定団体は8団体であり、更新対象団体は★印の6団体

○対象団体6団体のうち3団体は更新、3団体は更新不可※

※更新不可理由: 不測の事態による参加見送り、広瀬川1万人PJ実行委員会退会などによる要件未達

団体名(五十音順)	結果
★ NTTドコモソリューションズ(株)地域事業本部東日本支店	更新
★ (株)開成エンジニアリング	更新不可
★ 大和リース株式会社仙台支社	更新不可
★ 東鉄工業(株)東北支店	更新不可
★ ニッカウヰスキー(株)仙台工場	更新
(特非)広瀬川の清流を守る会	—
(株)フジタ 東北支店	—
★ (公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク水部会	更新

▶ 令和8年度の認定団体数・・・5団体

**【参考】更新要件**

認定期間内に実施した広瀬川創生プランの取組事業に延べ10人以上が従事



## 2. 広瀬川グリーンサポーターの更新について

- 団体名: NTTドコモソリューションズ株式会社地域事業本部東日本支店  
(主な事業内容: 情報通信システムの開発、製作、運用、保守 等)
- 代表者: 支店長 中山 大樹 様
- グリーンサポーター認定期間: 令和5年12月11日から令和8年3月31日まで
- 活動実績: **第35回広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃**  
(大橋会場の清掃活動に10名参加)  
**第36回広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃**  
(大橋右岸会場で清掃活動に22名参加)  
**第37回広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃**  
(大橋会場で清掃活動に20名参加)
- グリーンサポーター認定期間(更新後): 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

【第36回一斉清掃】



【第37回一斉清掃】



## 2. 広瀬川グリーンサポーターの更新について

■団体名: ニッカウヰスキー株式会社 仙台工場

(主な事業: ウイスキー、ブランデー、スピリッツ、リキュール類、シードル、焼酎等の製造)

■代表者: 理事工場長 笹村 欣司 様

■グリーンサポーター認定期間: 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

■活動実績: **第37回広瀬川1万人プロジェクト 河川・海岸一斉清掃**

(作並会場の清掃活動に37名参加)

※第38回広瀬川1万人プロジェクト河川・海岸一斉清掃は、クマ目撃により作並会場が中止となり、58名従事を予定していたが不参加となった。

■グリーンサポーター認定期間(更新後): 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで



【第37回一斉清掃】



## 2. 広瀬川グリーンサポーターの更新について

■団体名:公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 水部会

(主な事業:広瀬川水質調査、「水の神さま」プロジェクト等 )

■代表者:水部会長 山田 一裕 様

■グリーンサポーター認定期間:令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

■活動実績:**第21回「身近な水環境の全国一斉調査」(広瀬川の水質調査)(8名参加)**

**第22回「身近な水環境の全国一斉調査」(広瀬川の水質調査)(8名参加)**

■グリーンサポーター認定期間(更新後):令和8年4月1日から令和10年3月31日まで



【第21回水質調査】



【第22回水質調査】



# 3. 広瀬川ゴールドサポーターの更新について



## 広瀬川ゴールドサポーターについて

- 現認定団体は4団体であり、更新対象団体は★印の3団体
- 対象団体3団体はいずれも更新

団体名(五十音順)	結果
(株)NJS 仙台事務所	—
★ (株)建設技術研究所東北支社	更新
★ (特非)都市デザインワークス	更新
★ (株)深松組	更新

▶ 令和8年度の認定団体数・・・4団体

【参考】更新要件(次のいずれかの活動に従事するものとする)

(ア)更新の4年前の年度の4月1日から更新日までの認定期間を通算し、「広瀬川1万人プロジェクト」の清掃活動の会場事務局(又は補助)を3年以上担当

(イ)更新前年度の4月1日から更新日までに、広瀬川創生プランの重点事業の主催団体(又は補助)として2回以上活動  
※うち、1回は重点事業以外の事業(多くの市民が参加できて広瀬川の保全や賑わいづくりに貢献する取組)でも可

# 3. 広瀬川ゴールドサポーターの更新について



■団体名:株式会社建設技術研究所 東北支社

(主な事業内容:土木建設事業に関する企画、調査、計画、設計及び事業監理他)

■代表者:執行役員東北支社長 永矢 貴之 様

■ゴールドサポーター認定期間:令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

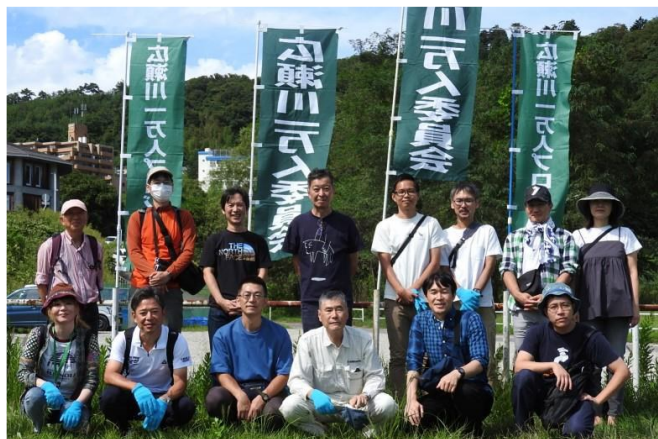
■活動実績:**第34回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R5.9.23 牛越橋会場**事務局**として活動)

**第35回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R6.4.27 牛越橋会場**事務局**として活動)

**第38回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R7.11.8 牛越橋会場**事務局**として活動)

■ゴールドサポーター認定期間(更新後):令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

【第34回一斉清掃】



【第35回一斉清掃】



【第38回一斉清掃】



# 3. 広瀬川ゴールドサポーターの更新について

■団体名 : 特定非営利活動法人都市デザインワークス

(主な活動内容: まちづくりの推進を図る活動、まちづくりの推進を図る活動を行う団体等の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動)

■代表者 : 代表理事 榊原 進 様

■ゴールドサポーター認定期間: 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

■活動実績: **第33回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R5.4.22 仲ノ瀬橋会場事務局として活動)  
**第34回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R5.9.23 仲ノ瀬橋会場事務局として活動)  
**第35回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R6.4.27 仲ノ瀬橋会場事務局として活動)  
**第36回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R6.9.28 仲ノ瀬橋会場事務局として活動)  
**第37回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R7.4.19 仲ノ瀬橋会場事務局として活動)  
**第38回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃**(R7.11.8 仲ノ瀬橋会場事務局として活動)

■ゴールドサポーター認定期間(更新後): 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで



【第36回一斉清掃の様子】



【第37回一斉清掃の様子】



【第38回一斉清掃の様子】



# 3. 広瀬川ゴールドサポーターの更新について



■団体名 : 株式会社深松組

(主な事業内容: 総合建設業、不動産賃貸業、不動産取引業)

■代表者 : 代表取締役社長 深松 努 様

■ゴールドサポーター認定期間: 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

■活動実績: 第33回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃 (R5.4.22 澱橋会場事務局として活動)

第34回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃 (R5.9.23 澱橋会場事務局として活動)

第35回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃 (R6.4.27 澱橋会場事務局として活動)

第36回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃 (R6.9.28 澱橋会場事務局として活動)

第37回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃 (R7.4.19 澱橋会場事務局として活動)

第38回広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃 (R7.11.8 澱橋会場事務局として活動)

■ゴールドサポーター認定期間(更新後): 令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

【第34回一斉清掃の様子】



【第36回一斉清掃の様子】



【第37回一斉清掃の様子】



【第38回一斉清掃の様子】



# 広瀬川魅力創生サポーター認定制度 の見直しの方向性について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第51回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

# 1. 第49回協議会 振り返り

## 【現行の認定制度における課題認識と解決の方向性】

### 課題① ゴールドサポーターへの認定基準拡大

(要綱 参考資料5)

理由	認定へのステップが広瀬川1万人プロジェクトや重点事業に特化している(要綱第6条第3項)
解決の方向性	ボランティア除草や清掃活動に参加した団体も認定できるよう基準を拡大

### 課題② 認定団体へのメリット向上

理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定団体の活動等を、市ホームページへの掲載等を通じて広く周知し、活動を支援するのみ(要綱第4条)</li> <li>・広瀬川ゴールドサポーターとして認定された活動団体へ、認定証を交付するのみ(要綱第9条)</li> </ul>
解決の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広瀬川魅力創生サポーターへの認定が、活動されている企業・団体のCSR活動の証明となるような枠組みの検討</li> <li>・表彰制度の検討 等</li> </ul>

### 課題③ 広瀬川魅力創生サポーター認定制度の周知に係る積極的な広報

理由	仙台市HP及び広瀬川ホームページに掲載のみ
解決の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広瀬川インスタグラムや市政だよりを活用し、積極的に制度を周知</li> <li>・認定ロゴマークの検討 等</li> </ul>



認定制度に対する意見を調査するためアンケートを実施

# 2. アンケート調査について

## 【アンケート調査 実施概要】

### 1 調査の目的

現行の認定制度における課題認識と解決案のほか、企業・団体が考えるメリット等を調査し、見直しの方針に反映するため。

### 2 調査期間

令和7年11月25日～令和7年12月19日

### 3 調査対象

(1) 認定団体 : 12団体【ゴールド4団体／グリーン8団体】

(2) 未認定団体: 広瀬川1万人プロジェクト関連団体【実行委員会加入 238団体】

プラン取組事業一覧掲載団体【7団体】

※その他プラン関連団体以外の意見聴取のため、仙台市市民活動サポートセンターにアンケート設置も回答なし

### 4 調査内容

(1) 認定団体 : 認定制度への所感／認定制度のメリット／その他認定制度への意見

(2) 未認定団体: CSR活動の実施状況／プラン・認定制度の認知度／認定への意欲度及び理由／認定制度のメリット／その他認定制度への意見

### 5 回答率

(1) 認定団体 : 41% (5団体／12団体)

(2) 未認定団体: 8% (20団体／245団体)

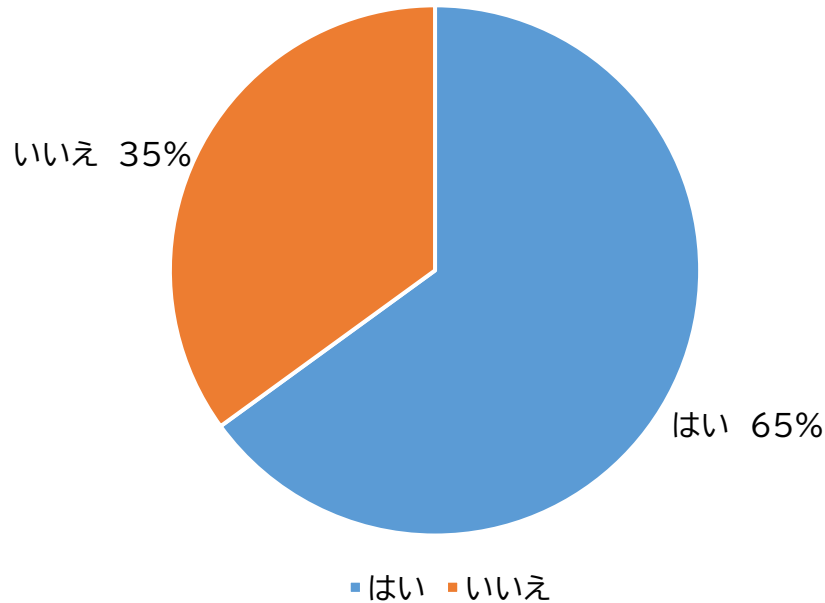
## 2. アンケート調査について

### 【アンケート調査結果】

#### ●CSR活動の実施状況(未認定団体)

CSRに関する活動を行っていますか？

(「はい」を選択した方にお尋ねします。) どのような活動を行っているか教えてください。



#### (清掃活動)

広瀬川1万人プロジェクト河川海岸一斉清掃、各種団体等主催のボランティア清掃活動(河川、公園等)、みやぎスマイルロード・プログラム、仙台まち美化サポートプログラム、みやぎふれあいパークプログラム、アレマキャンペーン(『ポイ捨てごみ』調査・清掃活動)

#### (その他)

環境保全に向けた取り組み(CO2削減、リサイクルの徹底、みちのくEMS認証等) 市民や学生を対象とした職場見学や就業体験の実施 その他支援(奨学金返還支援制度登録企業、耕作放棄地解消支援活動等)

#### 結果

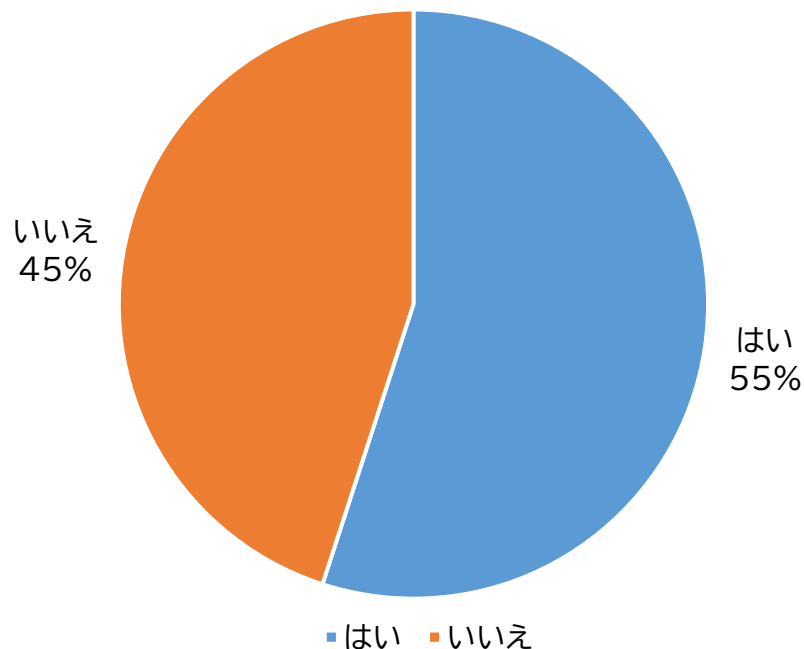
- ・CSRの活動を行っている団体が過半数以上となり、実施率は高いことが確認できた。
- ・広瀬川1万人プロジェクトへの参加が最も多く、そのほか宮城県や仙台市が実施する清掃などのボランティア活動への参加実績も多く見られた。

## 2. アンケート調査について

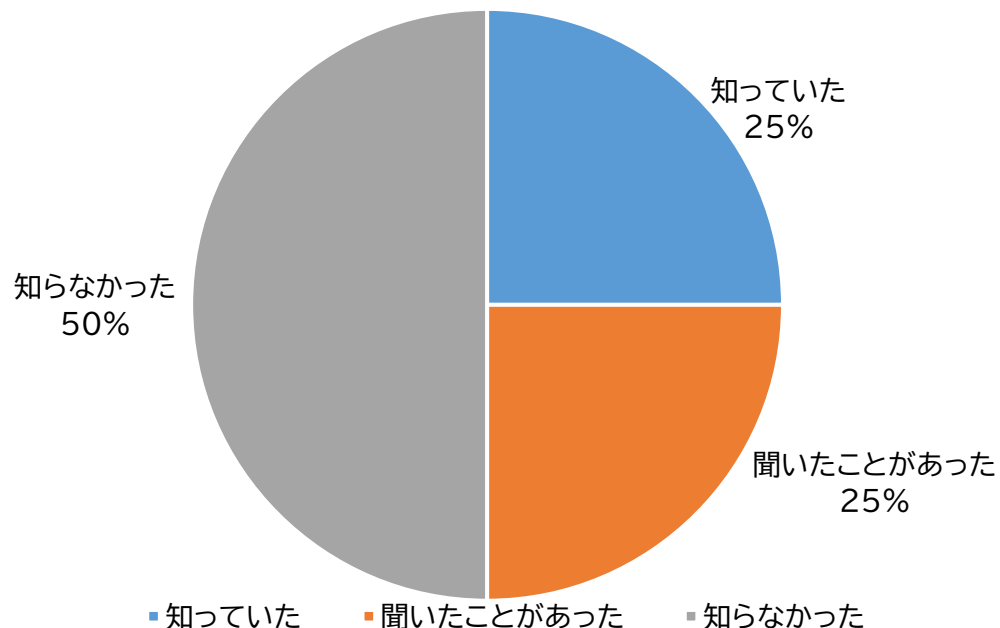
### 【アンケート調査結果】

#### ● プラン・サポーター認定制度の認知度(未認定団体)

広瀬川創生プランを知っていましたか？



仙台市では、取組団体の支援策として「広瀬川魅力創生サポーター認定制度」を設けていますが知っていましたか？



#### 結果

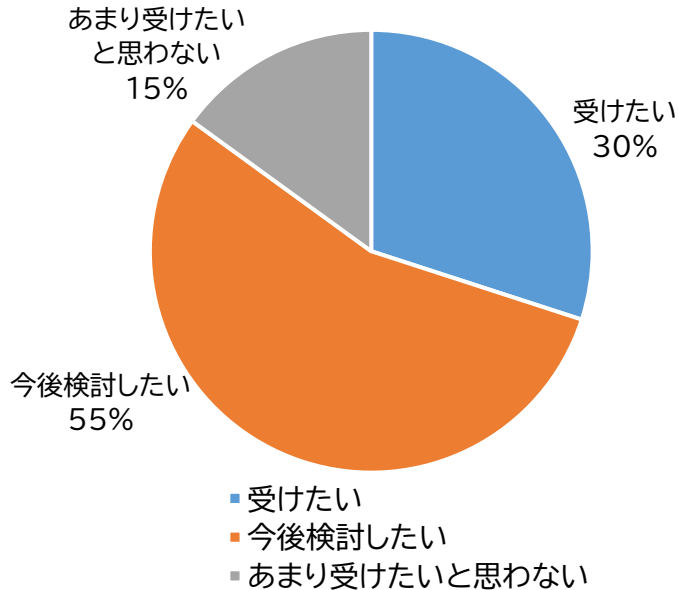
- ・プランを認知している団体は半数以上であった一方、約4割の団体が「知らない」という回答であり、プランの周知が十分ではないことが確認できた。
- ・サポーター認定制度については、「知っていた」と回答した団体が2割程度にとどまり、認知度の低さが明確となった。

## 2. アンケート調査について

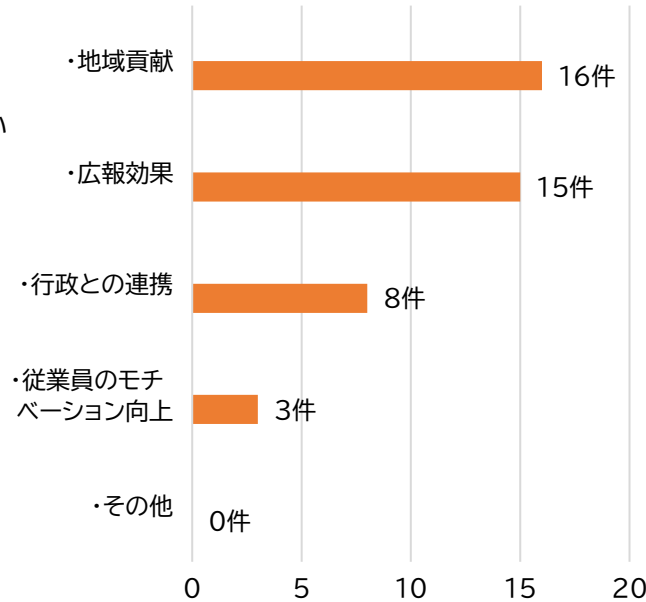
### 【アンケート調査結果】

#### ● サポーター認定への意欲度及び理由(未認定団体)

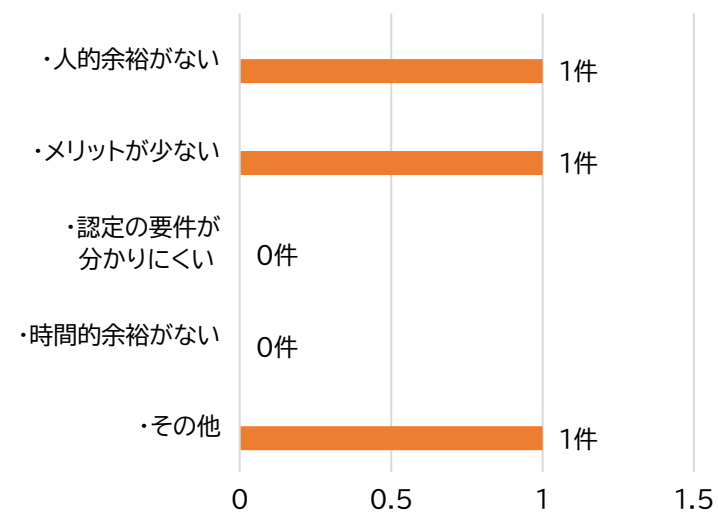
広瀬川魅力創生サポーター認定制度の内容を確認したうえで、グリーンサポーターやゴールドサポーターの認定を受けたいと思いますか？



(「受けたい」「今後検討したい」を選択した方におたずねします。) 認定を受けたいと思う理由を教えてください。(複数選択可)



(「あまり受けたいと思わない」を選択した方におたずねします。) 認定を受けたいと思わない理由を教えてください。(複数選択可)



#### その他意見

広瀬川に限らず広域での活動を展開しており、広瀬川関連にのみ注力できないため。

#### 結果

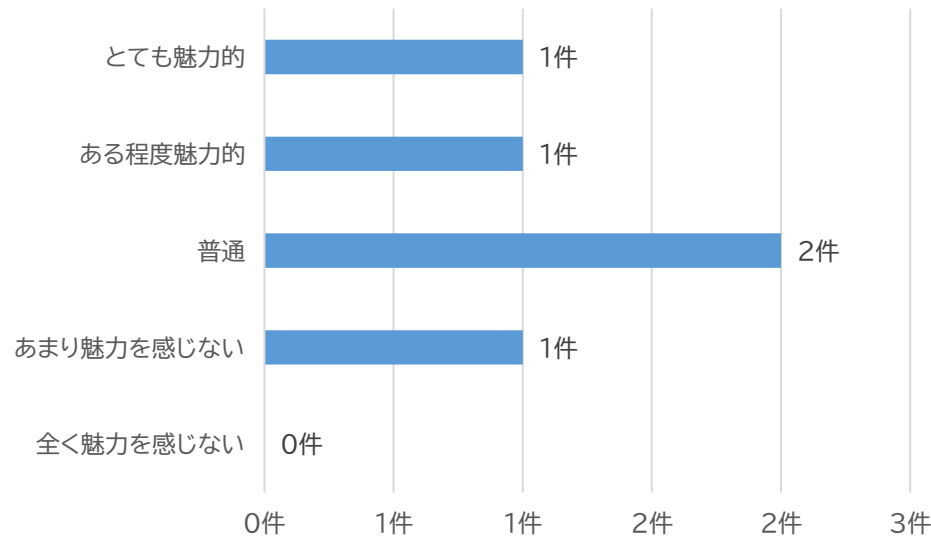
- ・認定を「受けたい」「今後検討したい」と回答した団体が8割と前向きな意見が多く、制度への関心の高さを確認できた。(理由:「地域貢献」「広報効果」「行政との連携」を求める声が多い。)
- ・一方「あまり受けたいと思わない」と回答した団体の理由としては、「人的余裕がない」、「メリットが少ない」などの意見が寄せられた。

## 2.アンケート調査について

### 【アンケート調査結果】

#### ● 現行のサポーター認定制度への所感(認定団体)

現行制度について、どのように感じていますか？



とても魅力的	ある程度魅力的	普通	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
1件	1件	2件	1件	0件

#### 結果

- ・認定団体のうち、「とても魅力的」「ある程度魅力的」と回答した団体は2団体のみで、半数を下回る結果となった。
- ・「全く魅力を感じない」を回答した団体は0であったものの、「普通」「あまり魅力を感じない」との回答が3団体と半数を超えており、魅力向上のための改善の必要性が高いと判断できる。

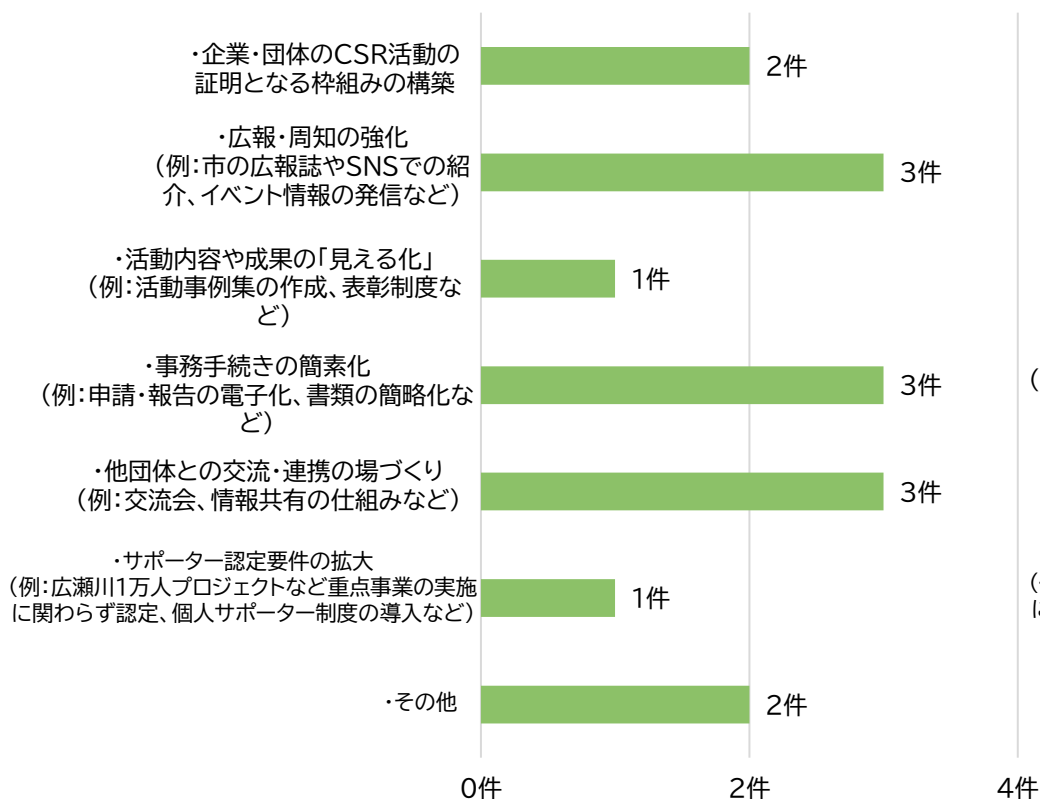
# 2.アンケート調査について

## 【アンケート調査結果】

### ●制度のメリット(認定団体/未認定団体)

さらなる制度の魅力やメリットを高めるために必要だと思ふ改善策を選んでください。(複数選択可)

※認定団体

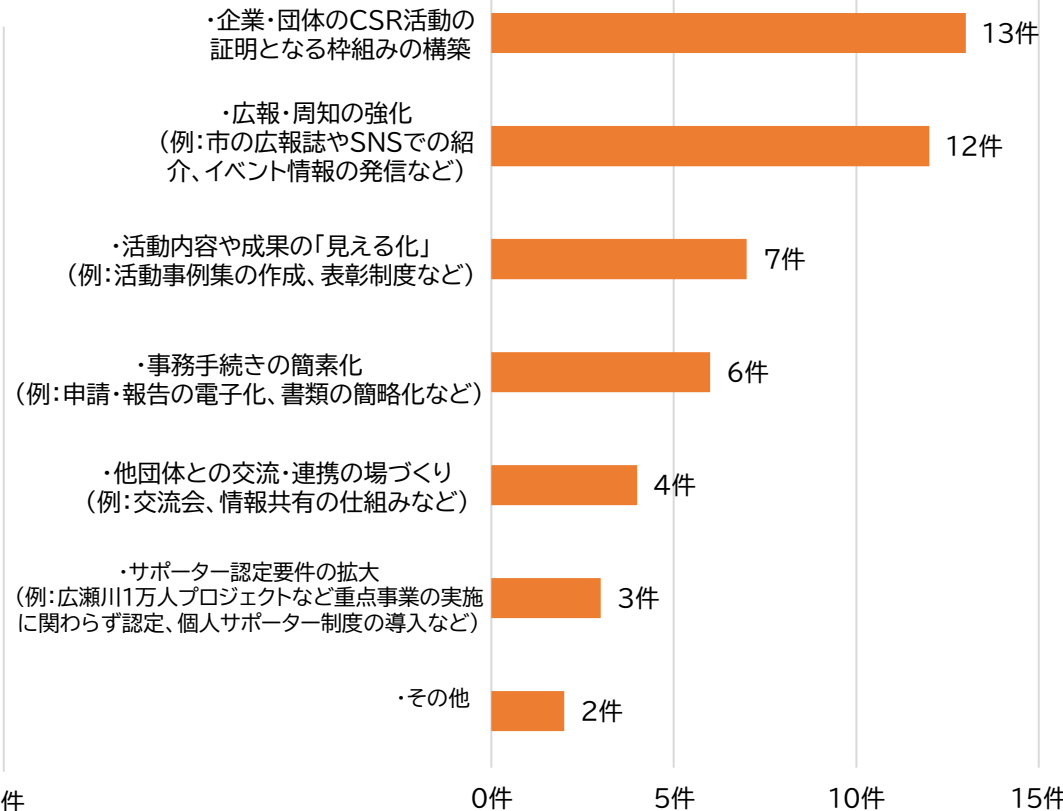


#### (その他意見)

- ・広瀬川をフィールドにしたイベント開催情報を適宜、簡潔に広報できる仕組みが必要
- ・広く集客ができるイベントへの出展枠の確保

サポーターの認定を受けることで、どのようなメリットがあると思いますか?(複数選択可)

※未認定団体



#### (その他意見)

- ・“社会貢献を行っている”ことについての、家族や近い知人へのアピール。

## 2. アンケート調査について

### 【アンケート調査結果】

#### ●その他意見(認定団体/未認定団体)

今後の制度のあり方や新たな活動のアイデア、市に求める支援など、具体的なお意見やご提案があればご記入ください。

項目	意見
制度改善	<ul style="list-style-type: none"><li>◆広瀬川での活動において、少額でも採択されやすい補助制度の仕組み</li><li>◆サポーター更新時における要件緩和(参加人数に関わらず、継続により更新 等)</li></ul>
交流	<ul style="list-style-type: none"><li>◆地域住民と企業などとの連携や交流による、コミュニティづくり、シビックプライド醸成</li><li>◆参加の入り口となるような、有意義な講演・講義等の定期的な開催</li></ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"><li>◆参加者増加のため、SNSやウェブサイト、地元メディアを活用した認定制度の魅力発信</li><li>◆参加者が誇りを持てる仕組みとして、サポーター認定の証明書やバッジの発行</li></ul>
除草	<ul style="list-style-type: none"><li>◆広瀬川一万人プロジェクトの活動の一環として、草刈りを実施(河川敷のゴミが減ってきているため)</li><li>◆自身の活動で、水辺の除草・整備作業を実施し、除草作業の機会があれば人は集まると実感</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>◆「広瀬川と四谷用水」、「仙台の下水道」を紹介する取組み</li><li>◆広瀬川流域に係る環境分野の研究に関する取組み<ul style="list-style-type: none"><li>・メガソーラー発電所の建設が河川に与える影響</li><li>・広瀬川にある主要な堰に付帯する魚道の機能評価(四谷堰、北堰、愛宕堰、郡山堰)</li></ul></li></ul>

# 3.認定制度見直しの方向性等について

## 【調査結果概要(まとめ)】

### 未認定団体

◆創生プランやサポーター認定制度の認知度 → **約50%** ※半数程度にとどまる

◆CSR活動の実施状況 → **65%** ※半数以上が取組みを実施している

◆サポーター認定への意欲度 → **85%** ※8割以上が認定を受けることに意欲的

(主な理由) ・地域貢献 ・各団体が実施する取組みの広報効果に期待 ・行政との連携を望む意見 など

◆その反面、認定を受けたくないという声 → **15%**

(主な理由) ・人的余裕がない ・メリットが少ない

【メリット向上策として団体が求めるもの】

- ・企業、団体のCSR活動証明となる枠組み
- ・広報、周知の強化
- ・活動内容や成果の見える化(表彰制度など)
- ・事務手続きの簡素化
- ・交流、連携の場づくり
- ・サポーター制度の要件拡大
- ・ロゴマークの作成 など

### 認定団体

◆現行制度に魅力を感じるか → **40%** ※魅力的と感じる団体は半数以下

【魅力(メリット)向上策として団体が求めるもの】

- ・企業、団体のCSR活動証明となる枠組み
- ・広報、周知の強化
- ・活動内容や成果の見える化(表彰制度など)
- ・事務手続きの簡素化
- ・交流、連携の場づくり
- ・サポーター制度の要件拡大
- ・ロゴマークの作成 など

⇒ 認定を受ける意欲のひと押しのため、認定されたあとも十分な魅力を感じてもらうため  
制度の見直しやメリットの向上等が必要

# 3.認定制度見直しの方向性等について

## 【制度見直しの方向性】

### (1)認定要件の見直し・拡大

#### ◆人的余裕がない課題への対応

- グリーンサポーター認定要件(参加人数延べ10人以上)の緩和  
 …(例)交流会等による横の連携強化を軸に、複数団体による共同参加も対象とする方向を検討 等

#### ◆不測の事態に備えた要件緩和規定の追加

- 新型コロナウイルス感染症やクマ出没などにより、イベント参加人数が減少した場合の対応を検討

#### ◆認定対象事業の追加

- 「除草作業」などの追加

### (2)活動成果を評価する仕組みの構築

#### ◆表彰制度導入の検討

#### ◆CSR活動証明の対象の取組みとする可能性を検討

## 【運用改善の方向性】

### (1)広報の徹底

#### ◆プラン・認定制度の認知度向上にむけた対応

- 様々な属性や立場の方に届く媒体(HP、SNS、市政だより)の活用やイベント出展等による継続的な広報実施

#### ◆認定団体への広報支援の充実

- 広瀬川ホームページでの特設ページによるサポーターの紹介や写真ギャラリー等の記事を掲載
- 認定ロゴマークやオリジナルグッズの作成の検討

### (2)その他

#### ◆事務手続き簡素化を検討

- オンライン申請フォームによる(申請・更新・実績報告等)の受付

# 3.認定制度見直しの方向性等について

## 【除草の拡充】

- ◆鳥獣被害対策:今年度、クマ出没情報が多発し鳥獣被害対策が喫緊の課題となっており、出没リスクの低減にむけ、実施個所のさらなる拡充が求められる。
- ◆利活用の促進:河川敷の利活用促進にあたり、除草や清掃の実施箇所を拡充するとともに、実施頻度を向上させることで、利用しやすい環境をつくる必要がある。

⇒ 行政のみによる対応が困難であり、ボランティア団体などの協力による 官民連携の除草清掃などの河川維持管理の促進が効果的

### 第49回協議会資料再掲

#### 「認定基準の拡大」の効果

- ・河川環境の保全  
広瀬川1万人プロジェクトや河川愛護会等による美化活動のほか、継続的な河川管理の取組みによる河川環境の保全
- ・鳥獣対策  
河川へ近づかせない環境づくり(隠れ場所の減少やエサの減少等)

#### 【参考】認定団体アンケート結果

(※11団体にアンケート実施 うち9団体回答)

**Q** 除草など維持管理に寄与する取組みに、団体(企業)として参加・協力することに興味はあるか？

**A** 9団体中8団体 興味がある と回答

【想定する参加・協力方法】

- ・構成員(従業員)のボランティア参加(6団体)
- ・社内報・掲示板などでの周知・広報(2団体)
- ・その他(イベントや事業の構想・組立て段階から関わりたい、ボランティア団体との共同実施)

### 3.認定制度見直しの方向性等について

#### 【今後の予定】

令和8年3月	・第51回広瀬川創生プラン策定推進協議会開催(本日開催)
4月	・認定制度見直しに関する意見照会(本日の協議会にて各委員に依頼)
5月	・認定制度見直し検討(事務局) 検討内容:制度(要綱)改正案および運用方針案の策定
6月	・認定制度見直し検討結果の共有と各委員への意見照会 ・意見を踏まえた認定制度の見直し再検討(事務局)
9月上旬	・第52回広瀬川創生プラン策定推進協議会開催 →「広瀬川魅力創生サポーター認定制度改定内容について」提示・承認